

【総論】

- 001) IPCC第2作業部会、1989：「地球温暖化の環境社会経済的影響評価の専門家会議について」－気候変動に関する政府間パネル（I P C C）第2作業部会－、環境と測定技術、Vol.16、No.12、pp.10-14.
- 002) 阿波田禾積、服部健、1991：アジア地域における地球温暖化問題、エネルギー経済、Vol.17、No.6、pp.44-51.
- 003) 上浜てる男、1989：気候変動問題に関する最近の動き、埋立としゅんせつ、No.147、pp.14-19.
- 004) 内嶋善兵衛、1990：地球環境の人為的变化、都市問題研究、Vol.42、No.11、pp.35-49.
(Man's influence on global environment.)
- 005) 内嶋善兵衛、1990：地球温暖化の影響評価、地学雑誌、Vol.99、No.6、pp.724-731.
(Assessment of probable effects of global warming.)
- 006) 内嶋善兵衛、1991：農林業への地球温暖化の影響－I P C C報告を中心にして－農業および園芸、Vol.66、No.1、pp.79-84.
- 007) 大嶋和雄、1991：地球温暖化の影響量評価とその対策、地質ニュース、No.445、pp.50-58.
- 008) 大塚隆一、1992：温暖化予測をめぐる問題 I P C C報告書増補版より、Security、Vol.16、No.2、pp.12-17.
- 009) 大村卓、1991：特集：地球環境保全への取り組み 地球温暖化問題について 2 地球温暖化（気候変化）の科学的知見、生活と環境、Vol.36、No.2、pp.25-29.
- 010) 岡本憲之、青柳雅、中条寛、中村秀臣、西村邦幸、橋徹、朝倉堅五、後藤真太郎、大石みち子、1991：地球環境問題の基礎的研究、三菱総合研究所所報、No.20、pp.10-43.
(A Basic Study on Global Environmental Problems.)
- 011) 唐沢正義、1989：地球温暖化問題への対応、バイオサイエンスとインダストリー、Vol.47、No.9、pp.955-957.
- 012) 川嶋康宏、1990：運輸行政と地球環境問題、土木学会誌、Vol.75、No.5、pp.89-92.
(Global Environment Policy in Ministry of Transport)
- 013) 環境庁、1989：「地球温暖化問題に関する検討会」の分科会第1回中間報告の概要－環境庁まとめ－、環境と測定技術、Vol.16、No.8、pp.2-6.
- 014) 北野康、1990：人間活動と地球温暖化、環境科学総合研究所年報、Vol.9、pp.105-113.
- 015) 計量計画研、1989：地球温暖化が及ぼす影響評価予備調査、172pp.
- 016) 小林紀、1991：地球温暖化問題と国際動向 I P C Cを中心に、燃料協会誌、Vol.70、No.3、pp.204-210.
(Global warming issue and its international trend.)

- 017) 田中正之、1989：グローバルな環境破壊 III 温室効果と二酸化炭素、労働の科学、Vol.44、No.1、pp.17-22.
- 018) 田中正之、1991：地球環境問題の基礎講座（3）CO₂と地球温暖化、環境技術、Vol.20、No.10、pp.652-656.
- 019) 田中正之、1991：地球規模の環境問題－温暖化問題のベールを剥ぐ（2）生物を育んだ地球気候が今危ない、公害と対策、Vol.27、No.14、pp.1411-1417.
(A Threat of Inadvertent Change of the Earth's Climate due to Human Activities.)
- 020) 地球産業文化研究所温室効果問題研究会、1989：温室効果問題について 1、P P M、Vol.20、No.9、pp.2-15.
- 021) 地球産業文化研究所温室効果問題研究会、1989：温室効果問題について 2、P P M、Vol.20、No.10、pp.51-60.
- 022) 戸塚績、1985：地球的規模における二酸化炭素濃度の増加と環境変化、化学と工業、Vol.38、No.1、pp.110-112.
(Increase in concentration of carbon dioxide from the global point of view and change in environment.)
- 023) 中島映至、1991：人工衛星による人間起源汚染のモニタリングと気候変動予測、情報・システム・利用・技術シンポジウム、Vol.14、pp.349-352.
(Satellite monitoring of environmental pollution and evaluation of its climatic effect.)
- 024) 西岡秀三、1989：地球温暖化影響と対処戦略、環境情報科学、Vol.18、No.3、pp.2-7.
(Impact and strategy of global warming.)
- 025) 西岡秀三、1990：温暖化影響研究状況のまとめ＝I P C C第2作業部会に参加して＝、季刊環境研究、No.79、pp.119-130.
(Report on IPCC working group II meeting.)
- 026) 西岡秀三、1990：特集 地球大気環境の計測・解析と保全 地球温暖化による環境・社会経済影響、計測と制御、Vol.29、No.7、pp.637-643.
(Special issue on instrument/analysis and preservation of atmospheric environment. Environmental and socio-economic impact by global warming.)
- 027) 西岡秀三、1990：地球の温暖化への取り組み、リモートセンシングシンポジウム資料、Vol.15、pp.1-4.
(Responding strategy to global warming.)
- 028) 西岡秀三、1992：地球規模の環境問題－温暖化問題のベールを剥ぐ5 地球温暖化の影響－（1）I P C Cの活動と予測、資源環境対策、Vol.28、No.3、pp.275-282.
(The Impacts of Global Warming - The Activities of the IPCC and its Findings.)
- 029) 西岡秀三、1992：地球規模の環境問題－温暖化問題のベールを剥ぐ6 地球温暖化の影響－（2）地域的影響、資源環境対策、Vol.28、No.5、pp.470-476.
(The Impacts of Global Warming - Regional Aspects.)
- 030) 星野岳穂、1990：第4回I P C C（気候変動に関する政府間パネル）本会合の結果について、産業と環境、Vol.19、No.11、pp.24-27.

- 031) 本田達郎、1991：地球温暖化問題をめぐる国内外の動向について、自動車技術、Vol.45、No.1、pp.44-49.
(Initiatives taken by Japan to address the global warming issue.)
- 032) 松尾友矩、1990：地球環境問題と土木・環境工学、土木学会論文集、No.417/II-13、pp.33-42.
(GLOBAL ENVIRONMENT AND RELATED ISSUES TO CIVIL AND ENVIRONMENTAL ENGINEERING)
- 033) 松岡譲、1991：特集 20周年記念講演会より 地球環境の今後の見通し、環境技術、Vol.20、No.12、pp.739-747.
- 034) 真鍋淑郎、1985：二酸化炭素と気候変化、科学、Vol.55、No.2、pp.84-92.
(Carbon dioxide and the climatic change.)
- 035) 山村尊房、1990：I P C C 第2作業部会報告、季刊環境研究、No.79、pp.87-93.
(Report of IPCC working group II.)
- 036) 山元龍三郎、1990：地球温暖化の実態に関する研究の動向、天気、Vol.37、No.5、pp.289-305.
(Review of the observational studies of recent global warming)
- 037) 山元龍三郎、1991：地球温暖化の実態、燃料協会誌、Vol.70、No.3、pp.211-218.
(Detection of global warming.)
- 038) 吉野正敏、1987：来る半世紀の気候変動とわが国の食糧・エネルギー・水の予想に関する研究、82pp.
(Climatic variation in next half a century and prediction of situations for food, energy, and water in Japan.)
- 039) 吉野正敏、1988：来る半世紀の気候変動とわが国の食糧・エネルギー・水の予想に関する研究、111pp.
(The forecasting of climatic variations and the food, energy and water situation in Japan in the next half a century.)
- 040) 吉野正敏、1991：特集 地球環境工学 地球環境と人間活動、ケミカルエンジニアリング、Vol.36、No.1、pp.21-25.
- 041) 吉野正敏、1991：来る半世紀の地球の気候と日本の農林水産業・人間環境の推定に関する研究 (II) (文部省S)、気候学・気象学研究報告、No.16、106pp.

温暖化の影響評価研究
文献インベントリー（日本編）

平成6年1月発行

〔発行・問い合わせ先〕
環境庁 国立環境研究所
地球環境研究センター
〒305 茨城県つくば市小野川16-2
Tel:0298-51-6111 ext.485
Fax:0298-58-2645

本書は再生紙を使用しています。